

小學修身書

九

T 151

22

Ki 15

小學修身書九

緒言

此ノ卷ハ第五年前期生ノ爲メニ編セシモノナ
リ、編ヲ分ツテ七章トス、養徳ナリ、節儉及正直ナ
リ、勉勵ナリ、天才ナリ、孝弟ナリ、朋友ナリ、信義ナ
リ、而メ此ノ章名ハ編ノ大段ヲ分ツ爲メノ符號
ニシテ深意アルニアラズ、讀者其ノ字面ニ拘泥
スルコトナカレ

明治十四年

編者誌

小學修身書九

第一章 養德

木戸 麟 編

○謙者ハ智ヲ得、驕者ハ辱ヲ受ク、禍ヲ降スノ日、
貨財亦復何シノ裨カアラシ、死ニ臨ムノ時、仁義
以テ自救フニ足レリ、愚者ハ人ノ短ヲ暴ラハシ、
智者ハ人ノ惡ヲ隱ス、人ヲ益スル者ハ正ニ以テ
己ヲ益シ、人ヲ損スル者ハ適ニ以テ己ヲ損ス、財
ヲ散ジテ富厚ヲ増スニアリ、財ヲ惜ミテ貧乏ヲ
致スニアリ、

孟子曰ハク、仁者ハ射ルガ如シ、射ル者ハ己ヲ正ウシテ、後ニ發ツ、發ツテ中ラザレバ、己ニ勝ツ者ヲ怨ミズ、諸ヲ己ニ反求スルノミ、

○孟子曰ハク、惻隱ノ心ハ、人皆コレアリ、羞惡ノ心ハ、人皆コレ有リ、惻隱ノ心ハ仁ナリ、羞惡ノ心ハ義ナリ、恭敬ノ心ハ禮ナリ、是非ノ心ハ智ナリ、○財ニ臨ンデハ、苟得ルヲ母カレ、難ニ臨ンデハ、苟免カル、ヲ母カレ、狠ニ勝ヲ求ムルヲ母カレ、分ツニ多キヲ求ムルヲ母カレ、禮記

第二章 節儉及正直

○管子曰ハク、倉廩充テ、禮節ヲ知リ、衣食足りテ、榮辱ヲ知ルト、人ノ世ニ處スルヤ、衣食足ラザレバ、則チ仰事俯育ノコトスラ、尚供給シ難シ、何ノ暇アリテカ、能ク其他ヲ顧ミシヤ、凡ソ、廉恥ヲ破リ、信義ヲ失スルモ、多クハ供用ノ乏シキニ出ツ、夫レ人其ノ職業ニ勉カスレハ、則チ以テ富ヲ致ス可シト雖、斥抑亦自カラ檢束シテ、節儉ヲ守リ、冗費濫用ヲ省クニ在ルノミ、孟子曰ハク、富歲ニハ、子弟賴多ク凶歲ニハ、子弟暴多シト、貧富ヲ以テ、品行ニ關係スルヲ、大ナリト云フベシ、則チ節儉

ノ務メザル可カラザル所以ナリ

○節儉ハ美德ナリ、吝嗇ハ禍根ナリ、財ハ積ム可ク散ズ可シ、若シ夫レ唯財ノ貯フベキノミヲ知リテ、之ヲ散ジテ利益ヲ起ス、アタハザルモノハ、貨殖ノ道ヲ知ラザル守錢奴ト云フ可キノミ。
○青砥左衛門藤綱ハ、相摸守平時賴ニ仕ヘテ、采邑數十所ヲ領シ、其ノ家富饒ナレ、私事ハ極メテ、節儉ヲ行ヒ、公事ニハ、則チ金銀ヲ擲チテ、吝マザルコト、敝屣ヲ捨ツルガ如シ、其ノ他、貧窶ノ者ニハ、衣食ヲ給シ、遠方ノ訴訟人、貧ニシテ、鎌倉ニ

留ル、能ハザル者等ニハ、其ノ資ヲ與ヘテ、志ヲ

成サシメタリ、曾一士人ノ訟ヘアリ、事相摸守ニ關スルヲ以、衆吏論ジテ、士人ヲ非トセリ、藤綱權貴ヲ避ケズ、是ヲ是トシ、非ヲ非トシケレバ、士人之ヲ恩トシ、其ノ國ニ歸ラントスルニ及ビテ、之ニ報ヒント欲スレドモ、清廉ナル藤綱ナレバ、之ヲ公言スルコト能ハズ、錢三百貫ヲ包ミテ、竊ニ藤綱ノ屋後ノ山ニ上リ、之ヲ推シテ、其ノ邸中ニ落セリ、藤綱之ヲ見テ、笑ヒテ曰ハク、是必彼ノ士ノ爲ル所ナラン、我ノ正シク事ヲ處セシハ、主君

ヲ思ヒテナリ、若贈物ヲ得ルノ理アラバ、之ヲ主君ヨリ受ク可キナリト、乃之ヲ彼ノ士人ノ家ニ送り返セリト云フ、

○「フランス革命ノ成、セルマンノ、フランスクホルトニ、モセスロツスキルド」ト云フ、兩替屋アリ、大ニ人ノ信任ヲ得タリ、佛軍セルマンヲ攻メレ、成ヘツスカツサルノ候、之ヲ避ケテ、フランスクホルトニ之キ、金貨ヲ託センヲ、モセスニ請ヒシガ、モセスハ、危難ノ時ナレバ、固ク之ヲ辭シタリ、候ノ強ヒテ之ヲ請ヘルニ因リ、已ムヲ得ズ、之ヲ

諾シタレドモ、證券ヲ出スコトヲ辭セリ、是レ其ノ無難ヲ保シ難ケレバナリ、候數千「ポンド」ノ金貨ヲ輸リシトキ、佛軍既ニ侵入セリ、モセス「遠ニ」之ヲ地中ニ埋メシトキ、己ガ財六百「ポンド」ヲ佛兵ノ爲ニ奪レタリ、其ノ後モセスハ、埋藏セシ金貨ノ一分ヲ用ヒテ、産業ヲ營ミシガ、候數年ヲ經テ、其ノ國ニ歸ルニ及ビテ、モセスヲ召シテ、之ヲ問フニ、金貨ヲ失ハザルノミナラス、五分ノ息錢ヲ加ヘテ、之ヲ返サント云ヒ、且當時ノ景狀ヲ述べ、其ノ一分ヲ用ヒタルコトヲ謝シケレバ、候大

ニ其ノ公直ニ感シテ、僅ノ息錢ヲ以、再之ヲ託セリ、且ツ歐洲各國ノ王侯ニ、此ノ事ヲ告ケケレバ、王侯皆モセズヲ銀主トセリ、モセス、是ニ依リテ、大ニ富ヲ得タリトゾ、モセス三子アリ、ロンドン、パリ、ウインナ、三所ニ分住セシメ、皆盛大ナル兩替屋トナレリ、遂帝王ノ兵ヲ舉グルト、否ザルハ、モセズノ金貨ノ有無ニ由ルト云フ如キ豪族ト爲リシハ、但其ノ正直ノ一徳ニ在ルノミ、○仁正寺ノ領主、市橋長璉ノ後室ハ、平戸ノ城主、松浦誠信ノ女ナリ、長璉没スルニ及ビ、後室其ノ

子女ヲ訓フル、恰モ嚴父ノ如ク、閭政清肅タリ、又廉介ニシテ、節儉ヲ守リ、然カモ、施惠ヲ好ム、凡ソ、單窶ニシテ、倚ル無キ者ニ遭フトキハ、所有ヲ捐テ、以テ之ヲ賙ハスニ至ル、孀居十七年、儉素愈堅シ、其居ル所、頗ル庳陋ナリ、世子長昭、改メ作ラン、ヲ請フ、後室可カズシテ曰ハク、美室華屋ハ、未亡人ノ宜キ所ニアラス、且ツ、吾レ久シク之ニ安シズ、其陋タルヲ知ラザルナリ、○佛國ノ「ヒエール」ト云ヘル人名募ニ應ジテ、兵隊ニ入り、行軍セシトキ、其ノ友人「フランメア」

ニ、金一千「フラン」ヲ託セリ、既メ「フランメア」商業機ヲ失シ、家産ヲ蕩盡シ、貧窶ニ陷レリ、或人「フランメア」ニ謂テ曰ハク、君貧ニ苦ムヲ甚シ、盡ゾ「ピエール」ノ一千「フラン」ヲ使用シテ、一時ノ急ヲ救ハザルヤト、「フランメア」曰ハク、「ピエール」ガ金ヲ我ニ託セシヨリ、我モ妻子モ曾囊紐ヲ解キシヲナレ、夫レ君子ノ君子ニ託セシ物ハ、一鎖一鑰ヲ要セズ我レ假令餓死ストモ、之ニ手ヲ觸レズト、其ノ後六年ヲ經テ、「ピエール」ガ歸期既滿チタレドモ、音信アラザレバ、其ノ存亡ヲ知

ル者ナレ此ノ時、「フランメア」ノ貧困益甚ク、舉家饑色アリケレバ、或人又云ヒケルハ、人「ピエール」ノ事ヲ知ル者ナク、其ノ死セシヤ、疑ヒナレ、君其ノ遺物ヲ受ク可キナリ、何ゾ、徒ニ財貨ノ傍ニ坐レテ、貧困スルヲ此ノ如キヤ、其ノ財貨ハ、則天ノ君ヲシテ、富饒ナラシムル所以ナリト、「フランメア」答ヘテ曰ハク、我他人ノ財貨ニ依リテ、吾ガ身ヲ立ツルヲ欲セズ、人ハ、此ノ囊中ニ金色粲然タリト思フベケレドモ、我ハ瓦石ノ磊々タルガ如シ、且之ヲ開ケハ、數頭ノ毒蛇出デ來リテ、

我ヲ咬マント思フノミ、我ハ他人ノ美味ヲ喫セ
ンヨリハ、吾ガ粗糲ヲ食ヒテ、饑餓ヲ忍バンコト
ヲ好メリト、已ニメ、一日、街上ニ太鼓喇叭ノ聲響
キテ、一「レジメント」ノ兵隊通行セリ、是則「ヒエー
ル」ガ、久ク敵中ニ囚虜トナリシガ、今其ノ部下ノ
兵ヲ帥井テ、歸リ來ルナリ、「ヒエール」ハ「フラン」ノ
ア「」ノ貧窶ヲ見、己ガ託セシ財貨ハ、既使用セシ
ナラント思ヒテ、之ヲ問ハザリシガ、「フラン」ノア
「」ハ、其ノ恙ナキヲ賀シ、直ニ金囊ヲ返セリト云
ス。

○貿易賣買ノ事ハ其他ノ職務ニ比スレハ、最人
ノ品行ヲ試ムル者ナリ、端正ナルト、邪曲ナルト、
公平ナルト、誠實ナルト、僞詐ナルトハ、是ニ由リ
テ、明白ニ呈露セリ。西國立志編

○商業ヲ盛ニスルノ秘訣ハ、其利益ノ多キニア
ラスレテ、購客ノ多キニアリ、購客ノ多カラシ
ヲ欲セバ、其利ヲ見ル「」ヲ小ニス可シ、小利ト雖
凡、積ミテ多キニ至レバ、則チ大利ナリ、

○一農夫アリ、其童子ヲ、「ニウヨルク」ノ商家ニ入
レ、商業ヲ習ハシメタリ、一日、塵頭ニ一婦來リ、絹

衣ヲ買ヒ、童子、之ヲ疊ミシ、小穿處アルヲ見テ、
婦人ニ告ケテ曰ハク、之ヲ貴客ニ示スハ、我ノ務
メナリト、婦人、乃買フヲ止メテ去レリ、主人、之
ヲ見テ、大ニ咎メ、直ニ書ヲ農夫ニ贈リテ、童子ヲ
携ヘ歸ル可シト云ヘリ、農夫驚キ來リ、其ノ故ヲ
問ヘバ、主人告グルニ、前日ノ事ヲ以テシ、此ノ童
子ハ、商人タルノオナシト云ヒケルニ、農夫ハ、我
ガ子ノ罪、果シテ此ノ事ノミナレバ、我ハ、益之ヲ
愛セントテ、携ヘ歸レリト云フ、此ノ童子成人シ
テ巨商トナレリ、

○大岡越前守忠相ハ、徳川將軍ノ臣ナリ、嘗山田
奉行タリシ、山田ノ人、和歌山藩ノ人ト、相關ス
ル訴訟アリテ、數年來決セザリシガ、忠相直ニ之
ヲ斷シテ、山田ノ人勝ツコトヲ得タリ、是レ決シ
難キ獄ニハ非リシカドモ、舊ノ奉行、和歌山ハ、將
軍連枝ノ大藩タルヲ以、其ノ權威ヲ懼レテ、之ヲ
決セザリシナリ、時ニ、吉宗和歌山ノ藩主ナリシ
ガ、其ノ正直ナルヲ嘉シ、將軍ト爲ルニ及ビテ、擧
ゲテ、江戸ノ町奉行ト爲シケリ、忠相遂公明正直
ヲ以、顯レタリ、

○支那春秋ノ時宋人玉ヲ得テ之ヲ司城子罕ニ
獻セシニ子罕之ヲ受ケザリケレバ玉ヲ獻ゼシ
者此ノ玉ハ之ヲ王人ニ示スニ寶ナリト云ヘリ
故ニ之ヲ君ニ獻ズルナリト云ヘルニ子罕ハ我
ハ貪ラザルヲ以寶トス汝ハ玉ヲ以寶トセリ若
我汝ノ贈ヲ受ケバ是レ我ト汝ト各其ノ寶ヲ失
フナリトテ之ヲ受ケサリレトゾ

第三章 勉勵

○程子曰ハク君子ノ學ハ日ニ新ナリ日ニ新ナ
ルハ日ニ進ムナリ日ニ進マザルモノハ日ニ退

ク未進マズレテ退カザルモノハアラズ

○盛年重子テ來ラズ一日再晨ナリ難シ時ニ及
ンデ當ニ勉勵スベシ歲月ハ人ヲ待タズ淵明詩

○學問ニ有用ノ學アリ無用ノ學アリ有用ノ學
ヲ爲スベシ無用ノ學ヲ爲スベカラズ

○ベンジャミン・フランクリンハ北アメリカボ
ストン州燭匠ノ子ナリ貧窶ニシテ幼ヨリ摺版
戸ニ身ヲ託シタリ其ノ性書ヲ好メ凡容易ク之
ヲ買フコト能ハザレバ常ニ節儉シ漸々ニ僅小
ノ俸金ヲ積ミテ之ヲ買ヒ一寸ノ光陰モ空ク費

スヲナクシテ之ヲ讀メリ、十六歳ノ時、ヒラデル
ヒアニ行キ、ゲームルト云ヘル、摺版戸ニ從ヒテ、
其ノ業ヲ勉メケルガ、穎敏ト勉勵トニヨリテ、華
麗ナル文章ヲ屬スルニ至リシカバ府尹之ヲ喜
ビ、自馬車ニ駕シテ、フランクリンヲ載セテ歸リ、
大ニ賞物ヲ與ヘテ、饗應セリ、其ノ後フランクリ
ン英都「ロンドン」ニ行キ、一書舗ニ身ヲ託シ、暇ア
レバ、則學ヲ勉メリ、他ノ同輩ハ金ヲ費シテ、酒ヲ
嗜ミ、之ガタメニ、腦髓ヲ損害シ、神氣ヲ鈍クセリ、
「フランクリン」ハ、酒ヲ飲マズ、慎ミテ、時ヲ用ヒタ

レバ、身體强健ニシテ、智識ヲ研究シ、多クノ金ヲ
儲蓄セリ、廿歳ノ頃、既職業學術ノ精巧ヲ極メテ、
「ヒラデルヒア」ニ歸リ、ゲームルト共ニ業ヲ開キ
タリ、此ノ時ニ當リテ、「フランクリン」ノ事務、極メ
テ繁多ニシテ、毎日、大紙一面ノ活字ヲ植エ、且ツ
雜事ヲ治メ、勉強敏捷ナリケレバ、世人ニ信ゼラ
レテ事アレバ、必託セラレ、益榮名ヲ得タリ、又新
聞紙ヲ發行セシガ、諸邦ノ人、爭ヒテ之ヲ求メ、漸
々財ヲ積ミタレ、氏、節儉ヲ守リテ、驕奢ノ行ヒ無
ク、時トシテハ、自車ヲ牽キテ、市ニ行キシヲ有リ、

爾後文房具ヲ賣リテ、文庫ヲ設ケ、一書ヲ著シテ、
年毎ニ一部ヲ出版セリ、此ノ書ハ文體精密ニシ
テ、至要ノ諭言及ヒ諸賢ノ確論ヲ記シタルモノ
ナリ、三十歳ニ及ビテ、ヒラデルヒア議院ノ書記
官トナリ、明年進ミテ、驛遞代官ニ撰舉セラレタ
リ、是ニ於キテ、益國民ノ裨益ヲ計リ、會社ヲ結ビ、
英達ノ學士ヲ集メテ、教ヘヲ弘メ、又少年ノ爲ニ
專門學校ヲ設ケ、又火災ノ爲ニ、火事請負社ヲ創
立シタリ、其ノ他、國家ノ利益ヲ爲セシメ、舉ゲテ
數フヘカラス、其ノ理學ヲ研究スルニ及テ、大ニ

電氣ノコトニ心ヲ留メタリシガ、此ノ頃ヒラデ
ルヒヤニ一大高塔ノ建築アリケレバ、フランク
リンハ、此ノ塔上ニ上リテ、空中ノ電氣ヲ試ミシ
ト樂ミタリ、一日、塔ノ建築イカント思ヒ、ソノ所
ニ至リシニ、未タ落成セザリケルガ、會紙鳶ノ空
中ニ浮ベルヲ見テ、大ニ喜ビ、己モ亦紙鳶ヲ以テ
電氣ヲ試ミシト想起セリ、乃銅線ヲ骨トナシ、絹
ヲ肉トナシ、驟雨ニ乗ジテ、之ヲ空中ニ飛ハセシ
ニ、電氣忽チ銅線ニ吸引シテ、絲ニ傳達シ、尋常ノ
電氣ノ試験ト同一ナル現象ヲ現ハシタリ、是ヨ

リ益此ノ理ヲ研究シテ遂ニ避雷線ヲ發明セリ
「フランクリン」稍老ヒテ合衆國獨立大戰ノ參謀
トナリ公使トナリテ佛國ニ行キ米國ヲ援ケシ
ムルノ議ヲ遂ゲタリ其ノ佛王ニ謁見セシトキ
幼時父ガ常ニ誦シテ教ヘタル汝勉強スル人ヲ
見タリヤ其ノ人必王侯ノ前ニ立ツベシト云フ
經典ノ語ヲ想ヒ出シテニハニ事ヒクノトナリ
「フランクリン」貧賤ノ家ニ生レテ終ニ英名ヲ州
内ニ赫カシ富貴衆人ニ超越シ快樂ヲ極メテ一
世ヲ終リシハ勉強ノ力ニ因ル者ナリ凡豪傑世

ニ出テ大業ヲ爲シタルヲアレバ人必其ノ原因
ヲ質問スルモノナリ之ニ答フルニハ「フランク

リン」ノ數言ヲ以足レリトス其ノ語ニ云ハク富
ミニ行ク道ハ勉強ト節儉トニアリ又云ハク天
ノ萬物ヲ生ズルハ人ヲシテ勉強セシメンガ爲
ナリ又云ハク今日事アレバ必之ヲ今日ニ爲セ
決シテ之ヲ明日ニ送ル可カラズ又云ハク人ノ
從僕ト爲リテ懶惰ナルトキハ豈主人ニ恥ヂザ
ランヤ我ハ吾ガ身ノ主人ナレバ懶惰ニシテ之
ヲ心ニ愧ヂザルベケンヤ

○名取彦兵衛ハ、甲斐國甲府山田町ノ人ニシテ、紙ヲ賣ルヲ以テ、業トナセリ、彦兵衛思ヘラク、我が國蠶糸ヲ製スルニ巨多ノ人カヲ費シナガラ、粗惡ノ品ノミ多ク之ガ爲メニ、國産ノ聲價ヲ墜シ、蠶事ノ損失ヲ招クハ、豈ニ歎ス可キノ至リナラズヤト、従前ノ商業ヲ廢シ、製糸ノ一途ニ心ヲ勞シ、器械ノ構造ニ思ヒヲ凝ラシ、始メテ、一ノ器械ヲ發明セシカドモ之ヲ試験スルニ未精好ナラザリケレバ、日夜イヨイヨ心思ヲナヤマン、再三再四之ヲ改造スルトイヘドモ、ナホ、其ノ心ニ適

フニ至ラズ、之ガタメニ、産破レ家傾カントスルヲ、比隣ノ人或ハ痴ト呼ビ、狂ト譏リ、其ノ迂拙ヲ笑ハザルモノナシ、其ノ家族モマタ彦兵衛ガ産ヲ失ヒ、家ヲ破ルヲ憂ヘシバレバ、舊業ニ復センコトヲ勸ムルトイヘドモ、彦兵衛少モ之ヲ用ヒズ、工夫ヲ費ス_テ自若タリシカバ、親戚ハ絶交シ、手代ハ暇ヲ乞ヘリ、明治四年ニ至ルニ及ビテ、蒸發氣ヲ以テ、製糸ヲ乾スコトヲ工夫シ、之ヨリ製糸大ニ精良ニメ、其ノ價ヒモ亦進メリ、同五年ニ至リ、更ニ針銅ヲ器械ニ加ヘ之ヲ試ミルニ、空氣

流動シテ温氣ヲ拂ヒ、糸質柔カニナリテ、杵ニ移
シテ乾キ易ク、直チニ提グ糸トナスニ、サハハリ
ナク小杵ニ繰リ移スノ工費ヲ省キ、糸質モ一層
精良ニ至レリ、之ヲ横濱ニ輸出セルニ、外國人賞
美シテ、價前日ニ倍セリ、明治六年一至リ、煮糸ヲ
清水ニテ洗ヒ杵ニ移スコトヲ工夫セシヨリ、糸
ニ光澤ヲマシ、精好ヲキハメタリト云フ、

第四章 天才

○人ノ天性ハ種々ニシテ、生レナガラニシテ、才
智アル人モアリ、或ハ遲鈍ナル人モアリトイヘ

ドモ、コレミナ、後來ノ成立ニ關係ナキモノナリ、
世ニハ、幼稚ノトキニ、伶俐ニシテ、神童トマデ呼
バル、モノアレドモ、ソノ老成ノトキヲ見レハ、
サマデ、並々ノ人ト、異ナルヲナキモノ多シ、
○少年ノ人ハ、天才ヲタノマスシテ、勉學スベキ
ナリ、蓋シオハ、天ヨリ受クルモノナレドモ、之ヲ
全成スルモノハ、ミナ自カラオサムルノ功ニヨ
ルコトナレバ、天才アリトテ、怠タルトキハ、遂ニ
ソノ天才マデモ、消滅シテ、愚魯ナル人トナルベ
シ、マシテ天才ノウスキモノ、怠タルニ於キテ

ヲヤ、

○英國有名ノ人士チエスドルフィールドハ、西曆一千六百九十四年ヲ以テ「ロンドン」府ニ生レタリ、幼稚ノトキ痴鈍ニシテ、シバシバ朋友ニ欺カレ嘲ラレタリ、十八歳ニイタルニオヨビ大ニ憤悱シテ、大學校ニ勤學シ其ノ后諸州ヲ經歷シテ世情ニ通シ識力大ニ進歩シテ國ニカヘリ、皇太子ノ侍講ニアケラレ、又國會下院ノ議員トナリ、次テ上院ノ議官ニ陞リシガ、議論周密ニシテ、院中ノ人士ミナ、コレニ服セリ、後和蘭國全權公使

ニ任セラレ、英國ト戰爭ノコトヲ論シ、遂ニ和睦ノ議ヲトナヘ、十分ニ其ノ國威ヲ張レリ、和蘭ヨリ歸リ、アイルランドノ知事トナレリ、此國ハ古ヨリ治メ難キ國ナリシニ、公ハ、ヨク人民ヲシテ、歸服セシメタリ、後マタ英國ニカヘリ、參議トナリ、國政ヲ論スルコト、公明正大ニシテ、當時第一ノ政治家ト評セラレタリ、嗚呼、勉勵自修ノ功一ニ、何ゾ、茲ニ至ルヤ、

○太宰彌右衛門春臺ト號ス、信濃ノ人ナリ、徂徠ノ門ニ於テ、名聲一時ニ冠絶シ、其ノ人トナリ、嚴

毅方正ナリ、管麟嶼ト云フ者アリ、才氣颯發、年十三ニシテ、擢テラレテ、幕府ノ儒官ニ列シ、一時稱シテ、奇童子ト爲ス、然ルニ、卒ニ、苗ニシテ秀デズ、春臺之ヲ規砭シテ、少クモ借サズ、其忠誠激切ナル、亦以テ、幼ニシテ才氣アルモノ、規箴トスルニ足ル、今、其ノ書ヲ左ニ録ス、

純、足下ノ學ニ於ケルヲ見ルニ、王公大人ノ學ヲ以テ、戲ト爲シ、以テ日ヲ消スル者ノ如クナルヲ無キヲ得シヤ、夫レ足下ハ、布衣ニ非ズト雖、然レドモ、儒生ナリ、不幸ニシテ、早ク、神童

ヲ以テ聞ユ、幸ニ、國恩ヲ蒙リ、廩粟ヲ賜ハリ、文學ニ列シ、朝請ヲ奉ス、少シト雖、凡、以テ、務ムル所ヲ知ラザル可カラズ、古人童穉ニシテ、日ニ、六藝古文數千言ヲ誦スル者アリ、純、足下ヲ識ルヨリ以來、茲ニ數年、未タ足下ノ誦スル所アルヲ聞カズ、今日ヲ以テ、前年ニ較ブルニ、亦未ダ其進ム所アルヲ見ズ、而シテ、進ム所ノ者ハ、吹笛ノミ、近來聲價頗ル減ズ、豈徒然ナランヤ、程正叔言フアリ、曰ハク、人三不幸アリ、少年ニシテ、高科ニ登ル、一ノ不幸ナリト、足下、其レ諸

レヲ思ヘ云、

第五章 孝弟

○君子ハ家ヲ出デスシテ教ヲ國ニ成ス、孝ハ君ニ事フル所以ナリ、弟ハ長ニ事フル所以ナリ、慈ハ衆ヲ使フ所以ナリ、大學

○ウルトール曰ハク、父母過チアレドモ、子ハ其ノ意ニ逆フ可カラズ、宜シク尊敬ノ意ヲ失フナク、徐カニ之ヲ諫ム可シ、

○孔子ノ弟子ニ、閔損ト云フ人有リ、其ノ母死シテ、父後妻ヲ娶リ、二人ノ子ヲ生メリ、損、孝養欠ク

コトナキニ、繼母、甚之ヲ疾メリ、嚴冬ノ候、其ノ子ノ衣服ニハ、綿絮ヲ入レ、損ノ衣ニハ、蘆花絮ヲ用ヒタリ、一日、父車ニ乘リ、損ヲノ馬ヲ御セシメシニ、寒風殊ニ甚ク、損、體寒エテ、靱ヲ失セリ、父之ヲ責ムレドモ、損敢自理セズ、父察シテ、之ヲ知り、後妻ヲ去ントス、損諫メテ曰ハク、母在セバ、一子寒シ、母去ラバ、三子凍エント、父之ヲ好シテ止ム、母モ亦悔イ改メ、是ヨリ三子ヲ待スル事均クレテ、遂ニ慈母トナレリ、

○中江氏、姓ハ藤、諱ハ原、字ハ惟命、與右衛門ト稱

ス江州高島郡小川ノ人ナリ、母ニ事ヘテ孝ナリ、少ヨリ書ヲ讀ミテ、頗ル發明スルトコロアリ、其ノ學、王伯安ヲ宗トス、本朝諸州ノ王學、惟命實ニ之ヲ倡ヘリ、嘗加藤某侯ニ、豫州太洲ノ城ニ仕ヘ、母ヲ迎ヘテ養ハントス、母ノ曰ハク我レ聞ク、婦人ハ疆ヲ越エズト、願ハクハ、之ヲ守ラン、惟命之ニ逆ハズ、職ヲ還シテ郷里ニ歸ラント請フ、加藤氏其ノオヲ愛シテ許サズ、惟命勃然トシテ、曰ハク、我不孝ナリト雖、氏、豈一日モ、祿ノ爲ニ縻ガレテ、以、定省ヲ曠フスルニ忍ンヤト、乃、一書ヲ留メ

テ、具サニ、母ト索居ス可ラザルノ意ヲ述ベ、潛ニ遜レテ、郷里ニ歸隱セリ、時ニ年二十又八、寛永某ノ年月ナリ

○孔子曰ハク、命ニ從テ忿ラズ、微諫シテ倦マズ、勞シテ怨ミズ、孝ト謂フベシ、

○平重盛ハ、大賢ト稱セラレタル人ナリ、保元平治ノ亂ニ、父清盛ヲ助ケテ、戦功最多ク、内大臣ニ任ゼラレ、羽林上將ヲ兼ヌ、性仁孝ニシテ、常ニ父ノ驕奢ナルヲ憂ヒ、諷諫未嘗懈ラザリシガ、治承元年、上皇ノ寵臣藤原成親等、平氏ノ專横ヲ憤リ、

之ヲ討タント謀リシガ、事發覺シ、清盛大ニ怒リ、
成親等ヲ捕ヘ、或ハ誅シ、或ハ流シ、兵ヲ六波羅ニ
集メテ、將上皇ノ宮ヲ犯サントス、重盛之ヲ聞キ
テ大ニ驚キ、直ニ六波羅ニ至リ、涕泣シテ君臣ノ
大義ヲ説キ、懇ニ其ノ不可ナル事ヲ諫メシガ、其
ノ言至誠ニ出デ、聽ク者感歎セザルハナカリキ、
○山田古嗣、幼ニシテ、母ヲ失フ、一日韓詩外傳ヲ
讀ミ、樹靜ナラントスレドモ、風止マズ、子養ハン
トスレドモ、親待タズノ語ニ至リ、流涕シテ、書ノ
濡ル、ヲ覺エザリシトゾ、人ノ生ハ限リアリ、故

ニ、吾ガ養ヒヲ盡サズシテ、父母共ニ死スルトキ
ハ、後悔ユトモ及バズ、故ニ幼ヨリ善ク、此ノ語ヲ
守リ、孝行ヲ盡サル可カラズ、

○常陸ニ、齋藤哲三郎トイフ人アリ、開拓使ノ貫
族ナリ、父ヲ但木文吉トイフ、哲三郎ガ伯父ナル
齋藤善太夫其ノ嫡子ヲ失ヒ、老且ツ貧ニシテ、其
ノ孫ヲ養フコトアタハズヨリテ、哲三郎ヲシテ、
其ノ家ヲ嗣カシメタリ、哲三郎天性温順ニシテ、
能ク養父母ニ仕ヘ、孤子ト己カ子ト三兒ヲ合セ
テ之ヲ愛育スルニ厚薄アルヲナカリケリ、

其ノ妻ノ病歿シテヨリ後ハ、自ラ炊キテ老幼ヲ
養ヒ辛苦ヲ盡シ、月日ヲ送リケルガ北海道ニ移
ランコトヲ思ヒオコシテ、老ヲ扶ケ、幼ヲ抱キ、明
治四年ノ二月、有珠郡ニ來テ、住處ヲサダメ、侍養
ノ暇、獨カラ以テ、陸田一萬八百餘坪ヲ開墾セリ、
サテ其ノ年ノ七月、養母死シ、又其ノ九月、養父死
セリ、其ノ病中ハ開墾勉勵ノモナカナリシニ、看
護イタラザルコトナク、且ツ三兒ノ養育モ行キ届
キタルハ、豈ニ好ミスベキコトナラズヤ、

○兄弟ト姉妹トハ、男女ノ性ヲ異ニスルコトアレ

凡、其主意ニ至リテハ、同一ナリ、則チ其一ハ兄弟
姉妹ハ、互ニ憐愛シ、相親厚ナルベシ、其二ハ相互
ノ名譽幸福ニ能ク意ヲ注グベシ、其三ハ、若シ意
見ノ相接觸スルコトアルハ、裁判ヲ父母ノ威權
ニ委託スベシ、其四ハ、總テ禮義ヲ壞ルベキ、行爲
習慣ハ務メテ、之ヲ除キ去ルベシ、其五ハ、父母ノ
家ヲ出テ、別居スル後ト雖、凡、兄弟姉妹ノ義務ヲ
怠ルベカラズ、希氏ノ修身學

○兄ハ、年長ジテ、弟ニ優レルニ由リ、能ク弟ヲ教
訓シテ、之ヲ保護スベシ、苟且ニモ、惡道ニ誘引ス

ルヲ勿カレ、若シ弟ノ惡ヲ爲サントスル時ハ、兄ハ善行ノ規模ヲ示シ、カメテ之ヲ制スベシ、弟ハ父母ノ在ラザル時ハ、殊ニ兄ニ信隨シテ、倚賴スベシ、勸善訓蒙

○伯叔父ト、從子ト、互ニ行フベキ務ハ、父母ノ務ニ比スレバ、輕シト雖、氏其基ク所ハ猶相等シトス、同上

○其他族人ハ、皆其祖先ヲ同クシ、共ニ一家ヲ成ス者ナリ、故ニ互ニ相親愛シ、互ニ相保護シ、其家名ヲ損セズ、是ヲ子孫ニ傳フルヲ以テ、其務ト爲

スベシ、同上

○駿河ノ八助ハ、主人石垣甚兵衛ノ貧困ヲ救ヒ之ヲ養ヒ育スルコト三十餘年、寶曆ノ頃、官ヨリ賞セラレタル人ナリ、八助三人ノ兄アリ、七歳ト云フ、善ク之ヲ敬ヒ親ミ、常ニ曰ハク、父母没シテハ、兄ホド頼モシキモノハアラズト、主家ヲ養育スルノ外ハ固ヨリ餘財ハアラザレドモ、其ノ身ノ俸養ヲ殺ギテ、盆暮毎ニ金若干ヲ兄ニ贈ルコト十餘年ノ間、變ル事ナカリケリ、

第六章 朋友

○益者三友損者三友アリ、直ヲ友トシ、諒ヲ友トシ、多聞ヲ友トスルハ益ナリ、便辟ヲ友トシ、善柔ヲ友トシ、便佞ヲ友トスルハ損ナリ、論語

○子貢友ヲ問フ、孔子曰ハク、忠告シテ善ク之ヲ導ビク可カザレバ止ム、自ラ辱ムルヲ勿カレ、

○鐵ヲ以テ鐵ヲ治ムレバ、交相磨礪ス、益友モ亦是ノ如シ、瑣羅門

○善人ト同ジク處レバ、日ニ善訓ヲ聞キ、惡人ニ從ヒ遊ベバ、日ニ邪情ヲ生ズ、蓬麻ノ間ニ生ズレバ、扶ケズレテ、自、直シ、白沙緇ニ入レバ、染メズレ

テ白、黒シ、王充論衡

○人其朋友ニ益ヲ爲サントスルニハ、正直ノ道ヲ以テ、之ヲ爲スベシ、又朋友ノ助ヲ得ントスルニモ、道德ノ教ニ背キタルヲ由リテ、之ヲ假ルベカラス、是レ人朋友ノ交ヲ厚ウセントスルトモ、道德ノ法則ニ違フテ、之ヲ爲スベカラザルニ由ルナリ、勸善訓蒙

○眞友ハ、吾身ノ爲ニ一ノ寶庫ナリ、此寶庫ハ、滿籩ノ金アリトモ、得難キ所ニシテ、饑寒布褐ノ士ノ却テ得ル所ナリ、汝等之ヲ得ント欲セザルカ、

若シ得ニテヲ欲セバ、惠愛信義ヲ以テ、人ト交ハ
ラズンバアルベカラズ、勸懲 雜語

○友ダチノ交リニ、心友面友ノ差別、情義ノ親疎
サマザマアリトイヘドモ、畢竟皆信ノ道ヲ本ト
ス、互ノ志同ジク交リ親ムヲ心友トイフ、志ハ違
ヒヌレドモ、筋目アルカ、或ハ同郷隣家、或ハ同官
同職ナドニテ、常ニ相交リテ親キヲ、面友トイフ、
一目知ル人モ、面友ノ中ナリ、心友面友トモニ、情
義ノ親疎同ジカラズ、其ホドホドノ義理ニ隨ヒ
テ、威儀恭シク、挨拶柔和ニシテ、偽ナク、勿論約束

ナドノ少シモ違變ナキガ、信ノ道ノ大體ナリ

問

答○以上朋友
ノ交ヲ論ス

○朋友ハ、人間ノ最貴重ス可キ者ニシテ、畢生ノ
幸福ヲ輔成スベキモノナリ故ニ、衆ト苦樂ヲ共
ニシテ、己ガ喜ビハ、之ヲ他人ニ分チ、他人ノ憂ヒ
ハ、之ヲ己ニ分ツベシ、狄仁傑ハ、唐ノ并州大原ノ
人ナリ、朝ニ仕ヘテ、法曹參軍トナル、時ニ友人鄭
崇質、命ヲ受ケテ、遠方ニ使ヒセントス、仁傑、之ニ
云ヒケルハ、足下、老母ノ病ヒニ卧スアリ、遠ク去
ランコト我之ヲ視ルニ忍ビス、我足下ニ代リテ

此ノ命ヲ奉ゼント、乃、上書シテ崇質ヲ止メ、自之ニ代レリト云フ、世人ノ交ハルヤ、優遊無事ノ日ニ當リテハ、手ヲ把リテ歡ヲ爲シ、死生相共ニシ、榮辱互ニ受クル者ノ如シ、一旦事不意ニ起リ、禍目前ニ生ズルニ及ビテハ、翻然トシテ、秦人ガ、越人ノ肥瘠ヲ見ル如クナルコト、往々之レ有リ、仁傑ノ行ヲ見テ、愧ヂザル可ケンヤ、

○「アリスチツパスト云ヘル人、イスチ子ス」ト云フ人ト、事ヲ争ヒ、隙ヲ成セリ、一日、「アリスチツパス」「イスチ子ス」ニ云ヒケルハ、願ハクハ、復與ニ驩

ヲ結ビテ、朋友トナラント、「イスチ子ス」曰ハク、然リ、我モ亦心ヲ傾ケテ相交ル可レト、「アリスチツパス」我ノ年ハ子ヨリ長ゼリ、故ニ先ヅ我ヨリ意ヲ起シテ、和セント欲スルナリト、言ヒケレバ、「イスチ子ス」ハ、我ノ賢誠ニ、子ニ及バズ、何ントナレバ、我ヨリ争ヒヲ起シテ、子ヨリ和ヲ勸ムレバナリト言ヒレトゾ、

第七章 信義

○人ト約セシ片ハ、故ナクシテ、之ニ背クベカラズ、若シ已ムヲ得ザル事故アリテ、約ノ如クスル

「能ハザレバ、明ニ其事ヲ語リテ解約スベシ、人ト事ヲ約セントスルトキハ、必ス其ノ約ヲ履ムヲ得ベキヤ、否ヤ、或ハ約スル所ノ事、正シキヤ、否ヤヲ思量スベシ、不善ノ事ト思フモノハ決シテ約スベカラズ、否ラザレバ、約ヲ守リテ、却テ罪ヲ受クベシ、一旦約シタルコトハ、早晚必ズ行フベシ、小利害ノ爲メニ、其約ヲ變スベカラズ、一旦人ニ與ヘタル物品ハ、決シテ取り返スベカラズ、若シ必ラズ、其物ヲ要スルコトアル片ハ、人ニ乞フモ可ナリ、然レトモ、其人諾セザレバ、決シテ強フ

ベカラズ、

○孔子曰ハク、人トノ信ナクンバ、其ノ可ナルヲ知ラズ、

○近江ニ貧窮ナル農夫アリ、六月ヲ期シテ、償却スルノ約ニテ、他人ヨリ、金若干ヲ借りレガ、貧ハマス、マ、甚シクナリテ、其ノ期イタレドモ、約ノゴトクスルコトアタハザレバ、僅少ノ田地ノコラズ、賣リハラヒテ、其ノ金ヲモチテ、債主ノトコロニ往キ、之ヲ償却シケルニ、債主ハ之ヲ憫ミテ、僕ハ始メヨリ、足下ニ呈スルノ念ヒニテアリシ

モノナレバ、其ノ返還ヲノゾマザルモノナリト云ヒケレバ、農夫ハ、君ノ恩惠ハ有リカタシト雖ドモ、借リタルモノヲ返サバルノ理ナシトテ之ヲ返シタリト云フ、

○支那ノ吳ノ國ニ、延陵ノ季子ト云フ人アリ、或ル時其君ノ使ヒニテ他國ヘ往ク道ニテ、徐ノ君ニ遇フ、徐ノ君、熟季子ノ劔ヲ見テ、言ハ出サバレドモ、之ヲ得ント欲スル色アリ、季子、心ニ、之ヲ察スレドモ、今君命ヲ奉ジテ、他國ニ往ク道ナレバト思ヒテ與ヘズ、使事終リテ、歸路ニ立寄リテ、見

ルニ、徐ノ君、已ニ死シタリケレバ、彼ノ劔ヲトキテ其ノ墓ノ側ノ樹ニ結ビツケテ歸ルヲ、從者、怪ミテ、徐ノ君ハ、已ニ死シタリ、然ルヲ、今墓ニ懸ケテ誰ニ與フルヤトイヘバ、サキニ、吾心ノ中ニテ與ヘムト思ヒタルコトナレバ、縱令其人死シタリトモ、ハジメノ志ヲ變ズルニ忍ビズトイヘリ、○鄭叔通、年少キトキ、夏氏ノ女ヲ娶ランコトヲ約シ、京師ニ遊ビ、學成リテ、官ニ上レリ、後國ニ歸リテ、其ノ女ヲ迎ヘントセシトキ、其ノ女、病ヒニ因リテ啞暗トナレリ、叔通ノ親戚相謀リテ、他ノ

女ヲ娶ラントス、叔通ノ曰ハク、無病ノ時之ヲ娶
ラント約シ、病ヒヲ發スルニ及ビテ、之ニ背クハ
吾ガ心ニ於キテ、安カラズトテ、遂ニ之ヲ娶レリ、
其ノ女ノ子、后、高官ニ上レリト云ス、

松井甲太郎書

小學修身書九

明治十四年六月廿二日版權免許

定價金九錢五厘

同年七月出版

同年十一月廿四日再版御届

編者

高知縣平民
木戸 麟

出版人

東京府士族
原 亮三郎

製本所

大坂唐物町二丁目
金港堂利見又吉郎

賣弘所

大坂心齋橋通南久寶寺町
丸 善支店

